

○ 「チェンジ・トレイ実証モデル事業に係る啓発・調査等」

## 事例集

○

事例1…精肉を真空パック包装に変更（ノートレイ）

<p>【方法】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白色トレイ包装の精肉を真空パック包装に変更</li> <li>・使用する袋はある程度強度のあるもの</li> </ul>
<p>【作業面の変更点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに専用機器による包装作業が発生（専門の作業員が必要）</li> </ul>
<p>【費用面の変更点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真空パック用袋が従来のトレイより安価であるためコストダウンとなる（使用する袋によっては高くなる場合もある）</li> <li>・真空パック包装作業などの追加オペレーションの発生により人件費がアップする可能性がある</li> </ul>
<p>【メリット】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックを大きく削減できる</li> <li>・トレイ包装よりかさばらないため、多くの商品を陳列できる</li> <li>・袋の材質、包装方法によっては、消費・賞味期限を長く設定できる場合がある</li> </ul>
<p>【デメリット】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バックヤード等での作業体制の変更が必要</li> <li>・トレイ包装に比べて見栄えで劣るように感じる（厚みが薄く感じられるなど）</li> </ul>
<p>【その他】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍保存しやすそう、肉質が悪いのではと考えるなどの消費者の意見あり</li> <li>・特に肉類については、トレイを皿代わりにして味付けなどの調理を行う消費者もおり、トレイを必要とする声もある</li> </ul>
<p>【写真】</p>	

事例2…果物や野菜をナイロン袋包装に変更（ノートレイ）

【方法】	プラスチックトレイとラップ包装からナイロン袋とテープ止めの包装に変更
【作業面の変更点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラップ包装まで自動で行っている場合は、袋詰めすることの手間が大きい</li> <li>・トレイ包装に比べ、積みない、または積む際に不安定になる可能性があるため、保管方法を変更する必要がある</li> </ul>
【費用面の変更点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイロン袋であれば、従来のトレイに比べて安価であるため、コストダウンになる</li> <li>・袋の材質、強度によっては従来のトレイよりも高くなる可能性がある</li> <li>・場合によっては追加オペレーションの発生により人件費がアップする可能性がある</li> </ul>
【メリット】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックを大きく削減できる</li> <li>・トレイ包装との見た目の違いが大きいので、環境にやさしい取組みを実施していることをPRしやすい。</li> </ul>
【デメリット】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のトレイより商品を並べにくい（トレイがないので商品が不安定になる）</li> <li>・商品がつぶれやすくなるため、重ね置きができない</li> </ul>
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレイ包装の方が見栄えがよいとの消費者の声がある</li> </ul>
【写真】	

事例3…惣菜を紙袋包装に変更（ノートレイ）

【方法】	蓋つきのクリアトレイから紙袋に変更
【作業面の変更点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラップ包装まで自動で行っている場合は、袋詰めすることの手間が大きい</li> <li>・トレイ包装に比べ、縦に積めないことから作り置いたもの（在庫）の保管方法・場所を調整する必要がある</li> </ul>
【費用面の変更点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のトレイに比べ紙袋の価格が高く、コストアップとなる</li> <li>・場合によっては追加オペレーションの発生により人件費がアップする可能性がある</li> </ul>
【メリット】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックを大きく削減できる</li> <li>・揚げ物としては昔から行われているスタイルであるため、違和感なく受け入れられやすい</li> </ul>
【デメリット】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の手間が大きい</li> <li>・販売スペースに重ねて置くことができないため、陳列数は少なくなる（重ねない場合は多く陳列できる場合がある）</li> </ul>
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・袋の中身が見えるようにするためには一部にプラスチックを使用する必要があり、完全なプラスチック削減にはならない（窓のない中身が見えないタイプもある）</li> <li>・コロナ禍では難しいと考えられるが、特に揚げ物については、大皿盛り販売、バイキング形式の販売は、トレイ削減の面でも販売の面でも大きな効果があるとの事業者の声がある</li> </ul>
【写真】	

事例4…惣菜をバイオマスプラスチックトレイ包装に変更（エコトレイ転換）

<p>【方法】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白色トレイ包装の惣菜をバイオマスを数%配合するトレイ（バイオマスプラスチックトレイ）包装に変更</li> </ul>
<p>【作業面の変更点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレイを変更するだけのため、作業面の変更はなし</li> </ul>
<p>【費用面の変更点】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスプラスチックトレイが従来のトレイに比べ高価であるため、コストアップとなる</li> </ul>
<p>【メリット】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見栄え、性能が従来品と変わらないため違和感なく受け入れられる</li> <li>・作業的にも変わらないため、従業員の負担を変えず環境にやさしい取り組みが実施できる</li> </ul>
<p>【デメリット】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材調達に係るコストアップとなる（バイオマスの配合率が大きいほど価格も高い傾向）</li> <li>・見た目が従来品と変わらないため、環境配慮商品であることが伝わりにくい（別途のPRが必要）</li> </ul>
<p>【その他】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイズや納入規模によっては従来品と変わらない価格のバイオマスプラスチックトレイも販売されている</li> <li>・様々なサイズ、デザインのトレイが販売されており、多く商品について使用を検討することが可能</li> </ul>
<p>【写真】</p>	

事例5…果物や野菜を紙製トレイ包装に変更（エコトレイ転換）

【方法】	プラスチックトレイのラップ包装や蓋付きのクリアトレイから紙製トレイのラップ包装に変更
【作業面の変更点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレイを変更するだけのため、作業面の変更はなし</li> <li>・蓋付きのパックから変更する場合は、新たにラップ包装の作業が必要となる</li> </ul>
【費用面の変更点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のトレイに比べ紙製トレイの価格が高く、コストアップとなる</li> <li>・場合によっては追加オペレーションの発生により人件費がアップする可能性がある</li> </ul>
【メリット】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見た目、性能が従来品と変わらないため違和感なく受け入れられる</li> <li>・作業的にも変わらないため、従業員の負担をえることなく環境にやさしい取組みが実施できる</li> </ul>
【デメリット】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙製トレイのサイズパターン、デザインが少なく、商品のサイズ、内容に合わない場合がある</li> <li>・資材調達に係るコストアップとなる</li> <li>・見た目が従来品と変わらないため、環境配慮商品であることが伝わりにくい（別途のPRが必要）</li> </ul>
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙製トレイのデザインにもよるが、白色トレイに比べ高級感があるなど見栄えがよいとの消費者の声がある</li> </ul>
【写真】	

事例6…惣菜・精肉を紙製トレイ包装に変更（エコトレイ転換）

【方法】	白色トレイ包装の惣菜・精肉を紙製トレイ包装に変更
【作業面の変更点】	・トレイを変更するだけのため、作業面の変更はなし
【費用面の変更点】	・従来のトレイに比べ紙製トレイの価格が高く、コストアップとなる
【メリット】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチックを大きく削減できる</li> <li>・見た目、性能が従来品と変わらないため違和感なく受け入れられる</li> <li>・作業的にも変わらないため、従業員の負担を変えずにエコな取り組みが実施できる</li> </ul>
【デメリット】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙製トレイのサイズパターンが従来のトレイほど多くなく、対応できる商品に限られる可能性がある</li> <li>・水分を多く含む惣菜などには対応できない場合がある</li> <li>・資材調達に係るコストアップとなる</li> <li>・見た目が従来品と変わらないため、環境配慮商品であることが伝わりにくい（別途のPRが必要）</li> </ul>
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィルムが貼ってあるもの、樹脂コーティングがしてあるものなど、防水性・耐油性を持つ商品もあり、揚げ物や水分を含む惣菜にも使用可能（ただしこれらの場合は完全なプラスチックの削減にはならない）</li> <li>・デザインにもよるが、白色トレイ等に比べ高級感があるなど見栄えがよいとの消費者の声がある</li> </ul>
【写真】	